

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2007-161711(P2007-161711A)

【公開日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2007-024

【出願番号】特願2006-334262(P2006-334262)

【国際特許分類】

C 07 D 471/22 (2006.01)

G 03 G 5/06 (2006.01)

【F I】

C 07 D 471/22 C S P

G 03 G 5/06 3 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月7日(2009.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

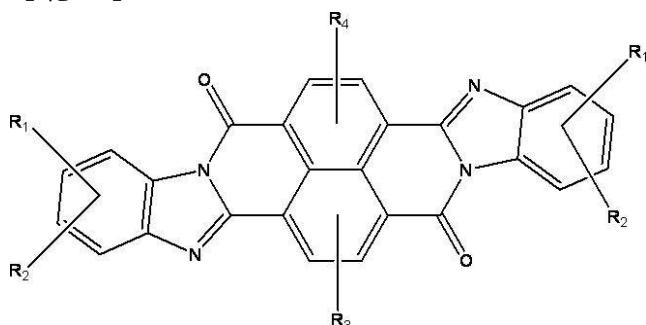
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の構造式を持つ化合物であって、

【化1】



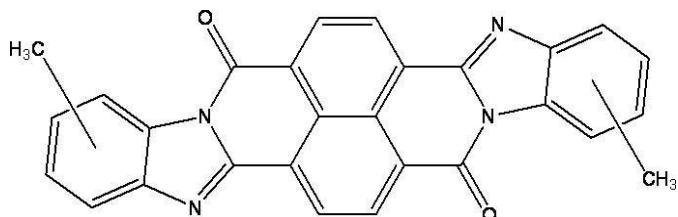
(1)

式中、R₁、R₂、R₃、およびR₄のそれぞれは同じまたは異なるものであって、水素、アルキル、アリール、および炭化水素から成る群より独立して選ばれることを特徴とする化合物。

【請求項2】

次の構造式で示されるビスベンゾイミダゾールペリノン(bisbenzimidazoleperinon)を含むことを特徴とする、請求項1に記載の化合物。

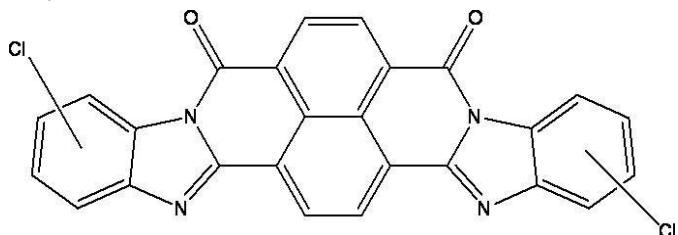
【化2】



【請求項3】

次の構造式で示されるビスベンゾイミダゾールペリノンを含むことを特徴とする、請求項1に記載の化合物。

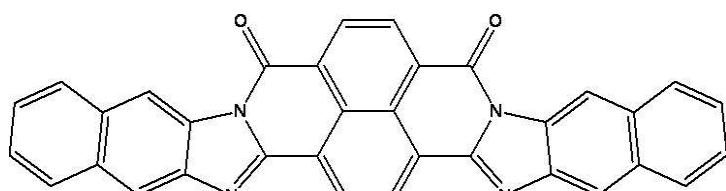
【化3】



【請求項4】

次の構造式で示されるビスベンゾイミダゾールペリノンを含むことを特徴とする、請求項1に記載の化合物。

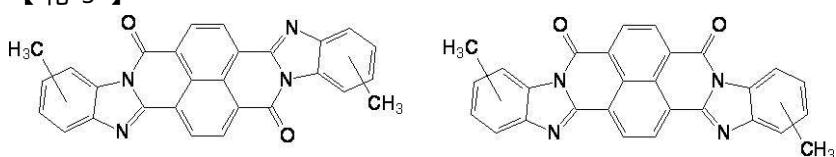
【化4】



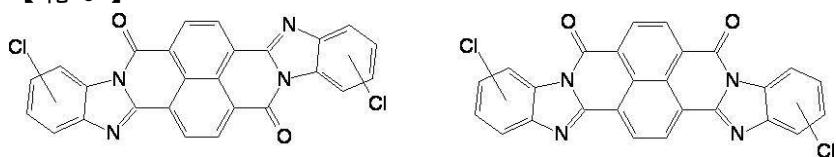
【請求項5】

支持基材と、その上の光発生層とを含む光導電性部材コンポーネントであって、前記光発生層は、以下の構造式から選択されるビスベンゾイミダゾールペリノン化合物を含むことを特徴とする光導電性部材コンポーネント。

【化5】



【化6】



【請求項6】

370～425 nmの波長域に感度を持つ請求項5に記載の光導電性部材コンポーネント。